

標記争議前報後ノ状況正記ノ送ニ有ク

記

一、労働者側

日本運輸労働組合長廣谷ニ在リテ本報小松原尤大船夫代表等ハ  
本月十三日事業主方ヲ訪メタルニ不在ノ為ノ別記ニ要スル書ヲ  
永井堰場係ニ午次ニ事業主方附近ニ繋留大隻ニ置キタル船  
船内ニ争議圍生部ヲ訪テ持久期ヲ期待シ今部員小松原等ノ末  
後ヲ受ケテ船内ニ一デー歇組各渡等ノ居ルガ数次  
ノ交渉拒他ニ氣勢揚カラサルノ觀アリ今日本運輸労働組合ノ執  
行委員會ハ既報本争議ノ度後ヲ可決シ尙友誼圍休等ヨリハニ  
三應援米ノ寄贈ヲ受ケ居レルガ近ク石王ノ湯京ト共ニ再交渉  
スベク日本紡織ノ第野真好等争議圍生部ヲ訪メ對策ヲ講究シ  
居レリ

二、事業主側

東京

十六日労働者ノ會見シタルガ前記要約書ニ對シテハ事業主側  
營雜ヲ傳述シテ之ヲ一蹴シ強硬ナル態度ヲ示シ居リ二十日早  
朝突兄病氣ノ報ニ接シタルヨリ目下帰省旅行中ニシテ同日水  
堰場係ヲシテ別記ニノ上申書ヲ所轄水上署ニ提出スルニ湯京  
迄ハ尚數日ヲ要スル模様アルヨリ交渉ノ進展ヲ見ス  
右ノ申(通)報候也

本報記者ニ由リテ労働者側ノ事情ハ如何ナルニシテ事業主側ノ事情ハ如何ナルニシテ交渉ノ進展ハ如何ナルニシテ